

製品名: PRSS33 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16566**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	PRSS33
別名	PRSS33; Serine protease 33; Serine protease EOS
遺伝子 ID	260429.0
SwissProt ID	Q8NF86
免疫原	抗血清はヒト PRSS33 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 18-67

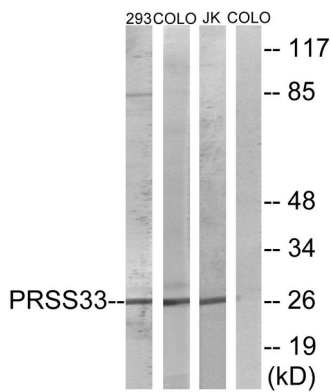
背景

機能: アミド分解活性を有するセリンプロテアーゼ。基質をアルギニン残基の前で切断する。誘導: ホルポールエステル PMA によってアップレギュレーションされる。類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。類似性: ペプチダーゼ S1 ドメインを1つ含

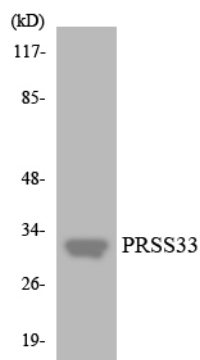
む。組織特異性: 主にマクロファージで発現する。脾臓、小腸、大腸、肺、脳 (タンパク質レベル) に存在。末梢白血球、卵巣、網膜、脾臓、胃で高発現する。胸腺、子宮、血小板、ならびに視床や胎児脳などの一部の脳組織で中程度に発現している。機能: アミド分解活性を有するセリンプロテアーゼで、アルギニン残基の前で基質を切断する。誘導: ホルポールエステル PMA によってアップレギュレーションされる。類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。類似性: 1つのペプチダーゼ S1 ドメインを含む。組織特異性: 主にマクロファージで発現する。脾臓、小腸、大腸、肺、脳 (タンパク質レベル) に存在。末梢白血球、卵巣、網膜、脾臓、胃で高度に発現している。胸腺、子宮、血小板、ならびに視床や胎児脳などの一部の脳組織で中程度に発現している。

研究分野

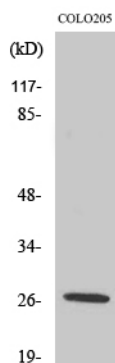
画像データ



COLO 細胞、293 細胞、および Jurkat 細胞のライセートを PRSS33 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーン合成ペプチドでブロッキングされている。



PRSS33 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



PRSS33 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

